

青森県立中央病院

**3次医療機関として
ほとんどの診療科があるため
さまざまな症例対応能力が身につく**

**幅広く多くの症例を実践形式で経験
整った医療施設での救急研修が充実**

**小児・産婦人科も総合的に研修できる
研修教育関連の開催行事も活発**



工藤 稜頭 医師
研修年次: 1年目
年齢: 25歳
出身: 自治医科大学
部活: 野球部
趣味: 筋トレ

青森県立中央病院では、青森県の3次医療機関としてほとんどすべての診療科があるため、多くの症例が経験でき、研修医の満足度も高いです。外科だけでなく、内科のローテーションにおいても、経験できる手技は非常に多く、指導医の先生方からも、実践的で熱心な指導をしていただき、日々成長していることを実感しています。

救命救急センター、ドクターヘリの運航及び高機能救急ケアシミュレーター導入により、救急と当直の研修が充実しています。救急部研修では、ドクターヘリの搭乗もあります。青森県は、陸路での迅速な救急搬送が地理的に困難なことが少なくありませんが、ヘリであれば、陸路で4時間かかる場所でも15分で搬送可能です。へき地医療ならではの研修であり、この上なく貴重な経験ができます。

県内唯一の総合周産期母子医療センターが設置されており、産科、新生児科、成育科、小児科の連携が非常に円滑に行われています。正常分娩から妊娠合併症分娩まで、幅広い症例を経験でき、特に1,000g未満の超低出生体重児の県内出生のほとんどを扱い、診療成績も全国トップクラスです。

また、年間を通して研修教育関連の行事が活発です。たとえば、月1回行われる院内症例検討会では、さまざまな症例に対して各科の指導医の先生方、研修医が参加し、活発なディスカッションがなされています。年2回、研修医による症例報告会もあり、それぞれが経験した症例についてプレゼンテーションをします。このような経験は、実際の学会発表の場でも活かされており、初期研修の2年間でほとんどの研修医が学会発表を経験しています。

HOSPITAL PROFILE

県の基幹病院として、救命救急センター、総合周産期母子医療センターのほか、4大疾病に対応した4つのセンターを設置し、従来の縦割りの診療体制から疾患特異的な体制（センター化）へ転換することで、最適な医療サービスや治療を行っています。

INFORMATION

病床数 684床
募集人数 16名(自治医含む)
待遇 給与1年目 383,000円/月(税込)
※9月までは351,000円/月(税込)
給与2年目 389,000円/月(税込)
所在地 青森県青森市東道2丁目1-1
E-mail kenbyo@pref.aomori.lg.jp
HP http://aomori-kenbyo.jp/

お問い合わせ

TEL **017-726-8315**

担当：総務課 工藤



「あおもり」は良医を育てます!

**青森県の中核病院で
あらゆる症例を幅広く経験**

青森県の中核病院であり、救命救急センターとドクターヘリ運航により機能の充足した救命部門や県内唯一の総合周産期母子医療センター(産科・新生児科・成育科)での研修等で、あらゆる症例を幅広く経験できます。



院長・循環器科
藤野 安弘 医師

「木」が集まり「森」になることを願って定められました。

青森県医師臨床研修対策協議会
事務局: 青森県健康福祉部医療薬務課

TEL: 017-734-9288 / FAX: 017-734-8089
E-mail: iryo@pref.aomori.lg.jp

詳しくはこちら

